

この町で素敵な「未来^{ミライ}」を描く方をご紹介します。



横山^{よこやま} 大輔^{だいすけ}さん（長井市在住）

よつばこども園 園長

目まぐるしく変化する世の中だからこそ、
心身ともに強く生きられる力を育んであげたい。



「みんなで一緒にかけっこしよう！」そう声をかけ、園児たちとともに全力で園庭を駆け抜ける姿を見せてくれたのが、今回ご紹介する、よつばこども園の横山大輔さんです。

横山さんは、幼少期に保育園へ途中入所した経験があり、当時心細かった自分に寄り添ってくれた保育士の方の存在が大きく、その時から『将来は保育士になろう』と考えていました。そして、高校在学時の職場体験で、当時のあらと保育園（現在は愛真こども園）を訪れ、その縁がきっかけとなり、今に至ります。昨年から園長となり、園全体の統括も担うようになりました。

元気に遊ぶ園児たちの様子を見ながら、「この遊んでいる時に見せてくれる満たされた表情が、何よりも嬉しいですね」と語る横山さん。誰から教わるわけでもなく、自分たちで考えながら、常に新しいことにチャレンジする姿に日々成長がみられることこそが、保育士にとって一番のやりがいと

この町の宝、そして、
私の自慢の子どもたちです！



のこと。しかし、園児たちの好奇心には、どうしてもケガのリスクは付きもので、奇想天外な行動にハッとする時もあります。「大切な命を預かっているので、毎日元氣にお家に帰してあげることが最も大切な使命です」と真剣な眼差しで話しました。

「園長先生！」と駆け寄ってきた園児を抱きかかえると、「この子たちが大人になる頃は、今よりもっと大変な時代かもしれないですね。だからこそ、子どもたちの感性と好奇心を大切に、たくさんの冒険を通して、心身ともに強く生きられる力を育んでいきたいですね」と笑顔を見せました。